



吉田 喜彦 展

会期：2015年9月01日（火）～9月29日（火）

会場：大黒屋サロン

アーティストトーク：9月18日（火）20:00～21:00

板室温泉大黒屋では、2015年9月1日（土）より9月29日（火）まで2009年以来2回目となります「吉田喜彦展」を開催いたします。

吉田喜彦は1936年に宇都宮市に生まれ、人間国宝荒川豊蔵に師事しました。岐阜県可児市に窯をひらき、志野、瀬戸黒、灰釉薬、白化粧などの技法を極めながら伝統を継ぐ美しさの作品と現代的な表現に挑戦する作家です。

80年代後半から海外の美術館において日本の陶芸を紹介する展覧会に参加するほか、アメリカのポートランド美術館などで講演とワークショップを依頼されるなど日本を代表する陶芸の重要作家として国際的にも注目されています。



日本の秀れた焼き物を生み出してきた岐阜県可児市に窯を構える吉田喜彦は、日本の自然、文化に敬意を払うとともに国内外で土器や工芸品を蒐集するなど独自の目線による作陶を続けてきました。同時期にその蒐集品による展示「吉田喜彦とうつくしいものたち」(岐阜県現代陶芸美術館)が行われるなどその創作の原点にも注目が集まっています。

この度の展示では、10点の志野、瀬戸黒、白化粧を含む茶盃、花生など80点余の最新作を一堂に展示いたします。失われつつある美しい日本の自然、温泉文化のゆったりとした時間の中でご覧いただく作品は板室の地ならではの体験となるでしょう。

79歳でありながらなおあと10年は仕事をしますと制作意欲に溢れる作家の現在を、ご高覧くださいませ。



左から出品作品
志野面取筒／志野茶碗／白化粧しのご手壺

是非、貴誌・貴社にて御紹介下さいますよう
宜しくお願い致します。ご質問等がございましたら
下記までお問い合わせ下さい。

板室温泉大黒屋

〒325-0111
栃木県那須塩原市板室 856

website
www.itamuro-daikokuya.com
blog
itamuro-daikokuya.blogspot.jp
Facebook
www.facebook.com/itamuro.onsen.daikokuya



2015年5月工房近くの道にて

